



大阪大学 男女共同参画だより

OSAKA UNIVERSITY

2013.3

NO.3

平成24年度第2回男女共同参画セミナーを 2月13日(水)に開催しました。

「実際にイクメンやってみよう！」

と題した平成24年度第2回男女共同参画セミナーは、多数の教職員、学生、一般の方の参加を得て大盛況でした。

まず、大学院工学研究科の中野元裕先生の育児休暇取得の際の体験談に続いて、総務企画部総長秘書室プロジェクトマネジメント・チームの前田健一郎主任の特別休暇（男性の育児参加）を取得された際のお話を伺いました。

続いて、男女共同参画推進オフィス室長の頼本教授から、阪大での男女共同参画の取り組みについて紹介があり、質疑応答の時間には多くの方から手が上がり、終了時間をオーバーするほどの熱気に包まれたセミナーとなりました。

参加者のみなさんのアンケートでは、学生の方からは「自分も将来育児に参加しようと思う」「育児に関わる自分のイメージができた」などのご意見が、教職員の方からは「気づきのきっかけになった」「実体験の話は参考になった」などの感想を頂きました。

次回開催は平成25年度の予定です。育児だけでなく、介護など、様々なテーマを取り上げる予定にしています。詳しくは、大阪大学ホームページ「多様な人材の活用」でお知らせしますので、是非ご参加ください。

【大阪大学HP「多様な人材の活用」】

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity>



平成25年度「研究支援員制度」利用者が決定しました。



「研究支援員制度」をご存じですか？出産・育児・介護などのライフイベントで、研究の時間を思うように取れない研究者の方に、大阪大学が雇用する研究支援員を配置し、研究の支援を行う制度です。

研究者としてのキャリアをあきらめることなく続けられるため、これまで制度導入から6年の間に多くの研究者にご利用いただき、ほとんどの利用者の方から喜びの声をいただいております。

また、研究支援員の方々にとっても、研究の実際を体験することにより、将来の自分をイメージし、スキルを磨く機会ともなるなど、貴重な経験ができたとの声をいただいております。

その「研究支援員制度」の平成25年度の利用者の募集を行い、このたび24名の方の利用が決定しました。平成25年4月から1年間、研究支援員の方のサポートにより、利用者のみなさまのワーク・ライフ・

バランスの充実に貢献する予定です。

* 募集は締め切っておりますが、緊急に支援が必要な場合は男女共同参画推進オフィスまでご相談ください。



みみより情報(その1)

「妊婦健診・サポート外来予約支援」をご利用ください。



男女共同参画推進オフィスでは、大阪大学医学部附属病院の協力のもと、本学教職員を対象とした「妊婦健診・サポート外来」の予約支援を行っています。特に妊婦健診は、体調不良となる方も多くなか、妊娠初期から通うことが必要です。

医学部附属病院の産科婦人科で健診やサポート外来を受診できるこの制度は、利用者の方からも喜ばれています。

「妊娠したかな?」「産後少し体調が思わしくないな…」と気になっている教職員のみなさん、男女共同参画推進オフィスまでお気軽にご連絡ください。

「次世代育成支援の手引き」ご活用ください。

大阪大学は「くるみん」を取得し、子育てサポートをしています。

妊娠・出産を控えた教職員の方々は、どんな手続きが必要なのか、どんな支援が受けられるのか、調べなければならぬことがたくさんあります。

それをまとめた冊子が、「次世代育成支援の手引き」です。常勤職員用・非常勤職員用の2種類あり、学内での手続きに必要な書類や、担当の連絡先なども掲載した充実の1冊です。

大阪大学HPに掲載していますのでご活用ください。男性も必見です。

【大阪大学HP「多様な人材の活用」「ワーク&ライフ支援情報」内】

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity/work_life_sup



【頼本室長レポート】 工学研究科・工学部 「女性研究者と その卵たちの集い」開催

平成25年3月6日(水)に開催された「第6回女性研究者とその卵たちの集い」(主催:工学研究科・工学部 総務室、共催:大阪大学男女共同参画推進オフィス)に参加しました。

この集いは、工学研究科の女性研究者と女子学生が、学科や専攻の壁を越えて交流を深めることを目的としています。第1部は、長谷川美貴先生(青山学院大学教授)と野々瀬菜穂子先生((独)産業技術総合研究所主任研究員)のお二人による特別講演会でした。これまでのキャリアや研究内容、研究と家庭の両立についての体験談などを熱く語ってくださり、ロールモデルとして、女子学生にとって大いに励みになるお話でした。第2部は、レストランで簡単な食事や飲み物を用意しての交流会でした。工学研究科の女性教員や女子学生はもちろん、男性教員や男子学生も参加して、第1部の講師の先生方を囲んで、質問や意見交換を活発に行い、熱心な語らいの場が広がっていました。

こうした集いが、工学研究科以外にも広がり、女子学生が研究者を目指すきっかけになる機会が増えると思います。

(大阪大学男女共同参画推進オフィス室長 頼本 維樹)



パンフレット「大阪大学における男女共同参画の推進のために」を作成しました。

大阪大学の男女共同参画推進について、普及啓発を目的として様々な取り組みをわかりやすくまとめたパンフレットを作成しました。

興味のある方は男女共同参画推進オフィスまでご連絡ください。



「大阪大学男女共同参画推進基本計画」 部局ヒアリングを実施しました。

本紙NO.2でお知らせしました部局長アンケート(昨年10月実施)に基づき、男女共同参画推進オフィスでは、5部局の部局長にヒアリングを実施いたしました。

ここで得たご意見を、来年度以降の男女共同参画推進基本計画の施策の改善・充実につなげていきます。

大阪大学の男女共同参画とワーク・ライフ・バランスのさらなる推進に全学を挙げて取り組んで行きましょう。

みみより情報(その2)

男女共同参画推進オフィスでは、女性教職員向けに電動さく乳器(メデラ社)のレンタルを行っています。

働きながら母乳育児を実践できると好評です。

レンタルをご希望の方、さく乳器に関するお問い合わせはオフィスまでお気軽にご連絡ください。



予告

I. 平成24年度男女共同参画報告書を発行します。

大阪大学の平成24年度における男女共同参画の概要についてまとめた冊子を発行します。

今年度の本学における男女共同参画の動きが網羅されており、セミナーやシンポジウムに参加できなかった方も内容をご覧ください。

大阪大学HPにも掲載しますので、一度ご覧ください。

II. ロールモデル集を発行します！

これまでご要望の多かった「ロールモデル集」を現在編集作業中です。大阪大学で活躍する研究者の方のインタビューをまとめたもので、まずは本学ホームページで公開いたします。(3月下旬予定)

ワーク・ライフ・バランスを実践されている研究者の実例を紹介していますので、女子学生や若手女性研究者の方をはじめ、みなさまの将来をイメージするのに役立つ内容となっています。



国立大学法人 大阪大学 男女共同参画推進オフィス
〒565-0871 吹田市山田丘1-1 (本部南棟)

TEL 06-6879-4405 FAX 06-6879-4406

URL <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity>

E-mail geoffice@office.osaka-u.ac.jp